

**高砂会グラウンドゴルフ大会
58名参加 ” 優賞盃 花島義雄さんに**

9月2日 午後6時30分から、五鹿屋高砂会グラウンドゴルフ大会を、農村公園で開催しました。58名が参加しナイター照明の爽やかな下で熱戦をくりひろげました。男女それぞれの入賞者は次の通りでした。尚、ルールによって優賞盃は花島義雄さんに授与されました。

男子 1位、花島義雄 2位、初田清一 3位、高橋 毅 4位、五十野正史 5位、柏樹直夫
女子 1位、小幡たまき 2位、柏樹金子 3位、早苗英子 4位、中居つや子 5位、増神文子
BB賞、男子 長原一彦、 女子 堅田昭子

砺波市社会福祉大会

8月29日(土)午後 市文化会館で市社会福祉大会が開催されました。五鹿屋から約40名参加しました。式典の後「地域の防災力を高めよう」の演題で、NPO法人レスキューストックヤード代表理事 栗田暢之氏の講演がありました。

五鹿屋ウォーキングに参加

8月30日(日) 第1回五鹿屋ウォーキングが開かれ高砂会員も参加しました。五鹿屋公民館から五郎丸神社、鹿島祥雲寺を通過して公民館に帰るコースでした。

「市老連ふれ愛スポーツ祭り」に32名参加

9月4日午後、県西部スポーツセンターで市老連ふれ愛スポーツ祭りが開かれ、五鹿屋から32名参加しました。市内の全地区が6つのブロックに分かれ競い合いました。五鹿屋は中野、東野尻、太田と南部ブロックとなり、優賞の栄誉を授かりました。北部ブロックも同点数で同じく優賞となりました。皆さんお疲れさまでした。

「全国ねんりんピック北海道」に 柏樹直夫さん

第22回ねんりんピック札幌大会(9/5～9/7)に、グラウンドゴルフ富山県代表として柏樹直夫さんが参加されました。大変名誉なことです。この種の全国大会には高砂会員から、何人かの方が過去に参加してみえます。

百年輝き続ける工の技に感動「富田家」

「安居寺」 蝉しぐれの木立の下で安寧のちかい ”

8月20日午前、安居の旧家「富田家」の見学と、「安居寺」大谷住職のお話をきく、五鹿屋高砂会現地教室を開きました。参加者は105名で2班に別れ富田家を見学した後、安居寺での法話は全員で聞き堂内や観音堂を最奥部まで案内していただきました。大きなトラブルもなく正午に公民館へ全員帰りました。

登録文化財「富田家」の広間に式台から案内され、全員がそこで18代当主富田利彦さんのお話を聞きました。

主な内容

- ・ 見物の建物ではない。外国に行ってみて、日本人の欠点として伝統文化を粗末にしていることに気づき自宅の「工」の技を残すことにした。
- ・ 登録文化財であり全く助成はない。先人の苦勞と形を後世に残すための個人の決意であり、維持費用は大変だ。
- ・ 大正12年から昭和4年までかけて造られた。まだ未完成だ。一応昭和4年というのは、仏間の欄間に作製年がはいっているから、その頃と思っている。
- ・ 数年間かけて入居できるようにするまでの家族の忍耐力、執念、集中力は、並大抵のものではなかったであろう。苦勞の結果だ。
- ・ 工の技は随所にみられると、専門家の指摘を受けている。ナゲシの木目の使い方、各部屋ごとの天井板特に奥座敷の天井の漆は18回塗り(今も輝きが違う)。建物の全ては創建当時のもの。障子の細工、ムシコ棧と小さいガラス戸の組み合わせ、縁側の樺板。釘は使ってない。建物の狂いが無い。
- ・ 大工はじめ全ての職人は地元の人。技が成熟した時の集大成の作品。
- ・ 各人の家を見直し、昔の物を誇りをもって残し、評価することが大事だ。

安居寺の本堂に移動し、10時から約40分間大谷龍宝住職の法話を聞きました。

- ・ 寺の歴史と観音堂の由来。真言宗 北陸27番観音霊場。
- ・ 本堂の大日如来像、見返り阿弥陀像の歴史といわれ。
- ・ 非公開の文化財と歴史、観音堂の絵馬の役割り。
- ・ 護摩祈禱や観音様の存在。
- ・ 天平時代から天皇の勅願所に、加え加賀藩の祈願所として守られてきた。戦国時代に兵火で焼失した。
- ・ 10月18日 秘仏の開帳がある。

お話の後、本堂の内部や観音堂の奥内まで入って案内していただきました。

陽が木立をとおし堂棟にさしこみ、蝉の音が一層の暑さを演出、その中でいつの間にか安寧の静のふちでした。最後に本堂で大谷住職への謝辞を、すこやか教室会長の中居けい子さんが述べ終わりました。